

わずか7ヵ月で申請業務80帳票を一気にペーパーレス化。 Cosminexus電子フォームワークフローによる短期開発で、 社内申請業務の効率化と内部統制向上を実現

日立INSソフトウェア株式会社(以下、日立INS)は、^{コスミンネクサス}Cosminexus電子フォームワークフローを使って、社内申請業務のワークフローシステムを構築。80帳票分を一気にペーパーレス化した。開発期間はわずか7ヵ月である。インターネット経由で、出張先からでも各種申請業務ができるようになったことで、従業員はいままで以上に機動力ある動きができるようになり、業務の効率化が進み、内部統制にも効果が出ている。日立INSは、今回の社内システム構築で培った利用技術とノウハウを積極的に盛り込みながら、ワークフローシステム構築の上流設計から、導入支援、保守運用サポートまでのトータル・ソリューションを提供している。



日立INSソフトウェア株式会社
情報システム部
情報システム課
課長
豊永 恵里氏



日立INSソフトウェア株式会社
情報システム部
情報システム課
主任
増子 寿子氏



日立INSソフトウェア株式会社
インターネットソリューション事業本部
e-Business開発部
主任技師
佐々木 正夫氏



日立INSソフトウェア株式会社
インターネットソリューション事業本部
e-Business開発部
比嘉 明日香氏



日立INSソフトウェア株式会社
インターネットソリューション事業本部
e-Business開発部
杉村 美美子氏

従業員の機動力を高めるために 申請業務をワークフロー化

日立INSは、インターネットを中心としたネットワーク・ソリューションの会社として、通信・公共・金融など幅広いフィールドで事業を展開している。

「当社の技術者は、お客さまのシステムに密着して仕事をするため、常にお客さま先で仕事を行うことが多くなります。ところが従来は、住所変更届などの社内申請が必要になると、書類を手に入れるためだけに事務所に寄ったり、記入後の申請書類を本社へ郵送するなどのわずらわしさと、申請処理の完了までに時間がかかるという問題がありました。各種申請業務をワークフロー化し、機動力ある処理ができるようにすることは、年来の課題だったのです」と豊永氏は説明する。

働きやすい環境を作って業務効率を上げるのは、情報システム部門の使命である。

しかし、既存のワークフローシステムでは開発にコストがかかるため、すべての申請業務のワークフロー化にはなかなか踏み切れなかった。

「また、メールを使った申請では、提出や承認・変更処理の証跡が残らないため、個人情報保護や内部統制の観点からも望ましく

ありません」と増子氏は言う。

新たなワークフローシステムの検討をしていた時に、同社インターネットソリューション事業本部から推薦されたのが、日立のCosminexus電子フォームワークフローである。

Cosminexus電子フォームワークフローは、導入コストが安く、開發生産性が高い。フローや入力画面の修正も簡単にできる。しかも、使い慣れた帳票のイメージと同じ見栄えの電子フォームを入力画面として使うこともできるため、幅広い利用者がすぐに利用できるようになる。

「つまり、導入のしやすさ、作りやすさ、使いやすさの3拍子がそろったワークフローシステムなのです」と佐々木氏は評価する。

さまざまな申請業務を すばやく、簡単に開発できる高い生産性

同社は、2006年9月に開発を開始して、2007年2月に第1フェーズとして63帳票の申請処理をワークフロー化し、同年4月には第2フェーズとして17帳票を加えた。

わずか7ヵ月で合計80帳票のペーパーレス化を実現したのである。

第1フェーズでは、住所変更届などの人事系の申請業務をシステム化し、5ヵ月で63帳票をワークフロー化した。

PARTNER PROFILE

日立INSソフトウェア株式会社
www.hitachi-ins.com

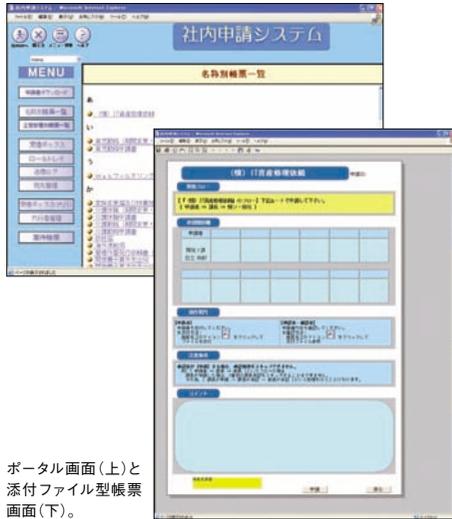
本社 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3
クイーンズタワーB 25階

設立 1986年4月

資本金 5億円

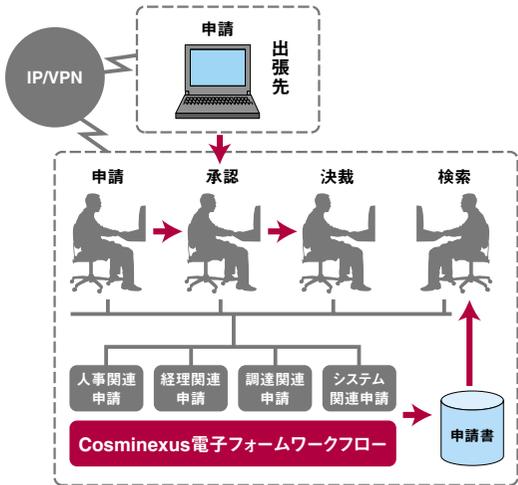
従業員数 780名(2008年4月現在)

インターネットを中心としたネットワーク・ソリューションの会社として、通信・公共・金融など幅広いフィールドで事業を展開。事業内容は、ICTビジネスソリューション、ICTクロスマーケットソリューション、ICTインフラソリューションの3本柱。最近では、顧客との密接なコミュニケーションをベースにした「SIソリューション提供」に力を入れている。内部からの情報漏えいを防ぎ、同時に、外部からのワーム・スパムメールをシャットアウトするメールアーカイブ&フィルタ「WISE Audit」、電子透かしプリントソリューション「e-紙紋II」、eCRM/CTIシステムソリューションをはじめ、自社開発パッケージも豊富。沖縄の関連会社・沖縄日立ネットワークシステムズ株式会社を中核に、「アジアと日本の情報ハブ」構築にも注力している。



ポータル画面(上)と添付ファイル型帳票画面(下)。

日立INSソフトウェア(株)の社内申請システム概要



「私は入社後すぐに電子フォームワークフロー開発の担当になりましたが、当時はプログラミングの経験がなかったためとても不安でした。でも、実際の開発では、複雑な画面もGUIで簡単に作れたので、内部処理の開発に集中でき、しかも短期間で開発できました。いまでは新規開発や修正も、一手に引き受けています」と杉村氏は語る。

第2フェーズで開発したのは、集計を自動的にしたり、社内データベースとのシステム連携が必要だったり、審査、承認の記録を残しておく必要がある経理関係などの申請業務だ。

こうした高度な機能を持つ電子フォーム設計も、ワープロや表計算ソフトで作った既存の帳票フォームを使うことで画面設計作業は不要だった。

「開発支援部品が豊富に用意されているので、字数チェック・必須入力項目チェックなどの機能はコーディングする必要がありませんでした。データベース連携もGUI操作で簡単に設定できましたし、JavaScriptを埋め込むときもタグキーで呼び出して選択入力できるのです」と比嘉氏は説明する。

Cosminexus電子フォームワークフローは、日本企業のワークフローシステム構築に求められる機能を、標準できめ細かくサポートしているのも特長だ。

たとえば、自分が不在のときに誰を代行者にするかを自分で管理できる。担当者が不在のときは、上長が受信ボックスを見て、上長自身で処理したり、他の人の受信ボックスへ送ってそこで処理するように指示することも可能である。

同社は、こうした標準機能を最大限に活用すると同時に、独自に開発したプログラムは部品化して、大いに再利用した。

たとえば検索機能はカスタマイズして、自分が申請したすべての案件を期間指定で一覧表示したり、進行中の案件を部門単位で一覧表示できるようにしたが、部品を活用することでこうした開発の生産性を大幅に上げたのである。

社内事例のノウハウを盛り込みトータル・ソリューションを提供

短期間で80帳票ものワークフロー化が実現したことで、従業員は手間をかけずスピーディに各種申請業務ができるようになった。申請業務のためだけに事務所へ足を運ぶ必要がなく、外出中でも自分が申請した案件の進捗状況をひと目で把握できるのだ。

「数多くの業務を一気にワークフロー化したことで、ワークフローシステムの利用も一気に定着して、とても効果的でした」(豊永氏)。

情報システム部門としては、開発生産性が高かったうえ、入力フォームの変更は利用者がやってくれるため、運用開始後の手直しに時間を取られることがない。出来上がったシステムの品質が高く、安定稼働が続いていることも、省力化につながっている。

「また、内部統制も大きく前進しました。『手続きをしてから実行』、『承認者を明確に』といったルールが自然かつ確実に実行されるのです」(増子氏)。

今後は、監査関係、生産系など、さらに幅広い業務のワークフロー化を進めていく。

また、業務履歴情報のレポート機能を利用して、帳票の利用頻度を分析してさらなる業務改善に活かしていくことも検討している。

「さらに、社内開発で培った利用技術とノウハウを、社外のお客さまにも提供していきたい。特に、たくさん開発した部品を利用することで、お客さま固有のワークフローシステムを短期間で開発できるようになったメリットを知っていただきたい」と佐々木氏は強調する。

日立INSは、今回の社内システム構築で培った利用技術とノウハウを積極的に盛り込みながら、ワークフローシステム構築の上流設計から、導入支援、保守運用サポートまでのトータル・ソリューションをこれからも提供していく。



●記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ

株式会社 日立製作所 ソフトウェア事業部 販売推進部
TEL.03-5471-2592 www.cosminexus.com

統合システム構築基盤
Cosminexus
コスミネクス